

# 令和4年 >>> 令和8年

～平田学区住民福祉活動計画～

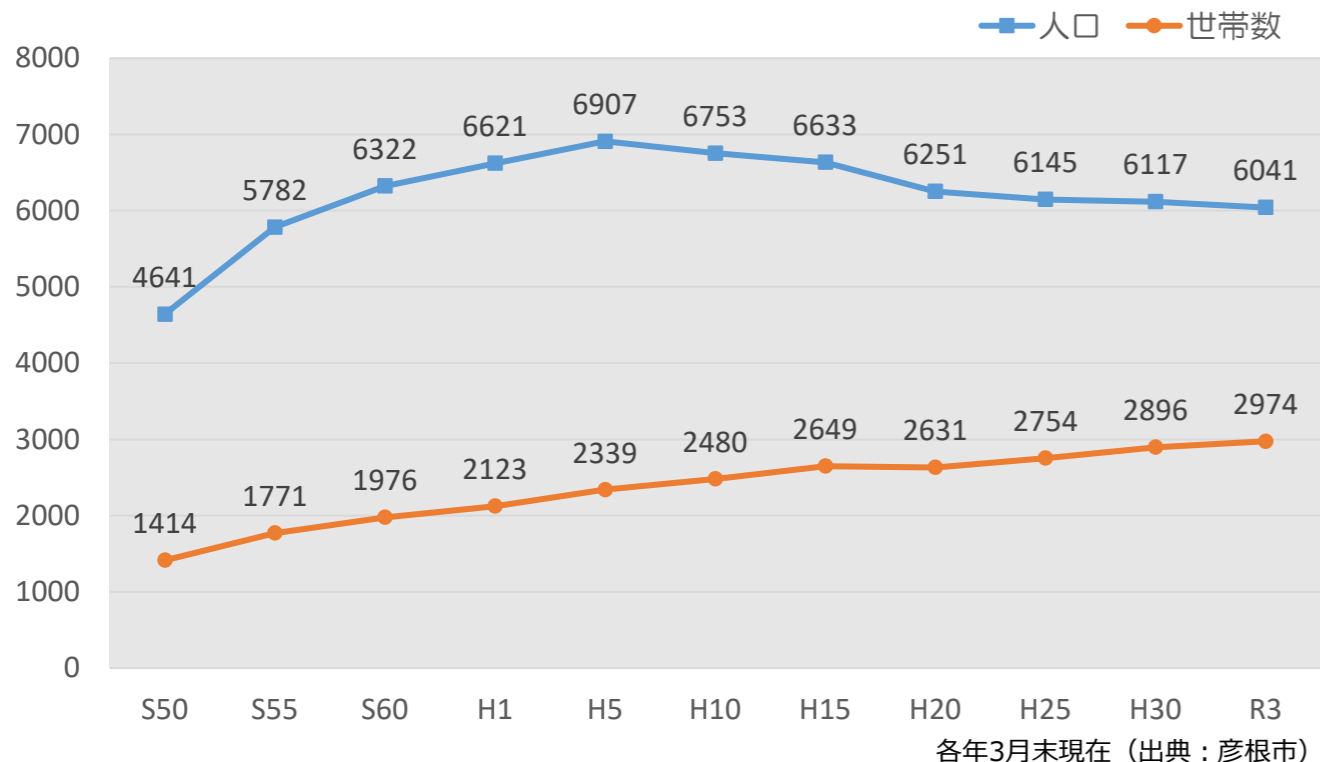
## 平田おひさまプラン 第2次

この計画は令和4年度（2022年度）～令和8年（2026年度）の間で取り組みを進めます。

平田小学校が目指す「太陽の子」から明るく、元気で、あたたかい地域になることを願い「おひさまプラン」と名付けられました。

### 数字で見る平田学区の移り変わり

世帯数については増加傾向にあるものの、人口は平成5年を境に減少しています。生活様式の変化とともに、核家族化や単身化が進んでいることが考えられます。



### 数字で見る平田学区の“今”

《人口の構成》

	0～4歳	5～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	合計
人数	212人	660人	1422人	2020人	1768人	6082人
構成率	3.5%	10.9%	23.3%	33.2%	29.1%	

※四捨五入の関係上100%になりません

令和3年8月末現在（出典：彦根市）

《世帯数や高齢化率等の変化》

第1次プラン発行時（平成28年1月末）から令和3年8月末の5年間の変化です。

世帯数	2807世帯 → <b>3022世帯</b>	高齢者のみの世帯数	318世帯 → <b>824世帯</b>
高齢化率	26.7% → <b>29.1%</b>	1人暮らし高齢者数	376人 → <b>464人</b>

平成28年1月末現在 → 令和3年8月末現在（出典：彦根市）

### 平田おひさまプラン 第2次（平田学区住民福祉活動計画）

策 定：平田おひさまプラン推進会議

平田おひさまプラン推進会議は、平田学区社会福祉協議会、自治会・町内会の代表などが集い、地域の福祉の充実の為に話し合う場です。令和4年3月までに18名のメンバーが集まり、全16回が開催されています。

この計画書は、「赤い羽根共同募金」の助成金で作成しています

### 平田川桜の通り抜け



写真提供：平田川沿いに「桜の通り抜け」を造る会

### みんなにお伝えしたい「平田学区の歴史」

50年前の平田学区は「平“田”」の名のとおり地域のほとんどを田んぼが占めており、旧来の集落以外に住宅はなく、馬車が土砂を運搬していました。また平田川には水車もありました。通称「八丁目通り」、「ベルロード」が南進するとともに地域はみるみる発展して現在の形となり、西暦2000年を記念して植えられた平田川沿いの桜は、毎年華やかに咲き乱れるまでに成長しました。



▲1972年（昭和47年）当時の平田学区（出典：国土地理院）



【計画の推進期間】  
令和4年度～令和8年度

# 平田おひさまプラン 第2次

平田学区  
住民福祉活動計画

策定までのあゆみ 第1次「平田おひさまプラン」は平成28年に策定し、多くの成果をあげるとともに様々な課題も明らかになりました。その成果と課題について推進会議で話し合い、令和4年に第2次プランを策定しました。これからの5年間、このプランに沿って学区の福祉活動をさらに充実発展させたいと考えます。  
広く学区の皆さまにこのプランが浸透し、多くの団体が積極的に取り組むことを通して、あらゆる世代の皆さまが「平田学区に住んでよかった」と言える福祉の充実した学区になることを目指しています。

基本理念

ひといひといが輝き  
らくらくつながる  
たのしいまち 平田

## 《活動目標2》 まもる

- ①もしもの時も助け合えるよう  
ふだんから福祉防災の活動を行います。
- ②“気になる人”や“支援が必要な人”への  
声かけ・見守り合い活動に取り組みます。
- ③周りの人とつながり、お互いに  
助け合える地域をつくりまします。

## 《活動目標1》 つながる

- ①学区の皆さまや各団体の連携した取組の実現や  
活動が活発になるための地域の課題を話し合う  
場をつくりまします。
- ②行けば誰か居る、何かある  
“気軽に”集まれる多様な場をつくりまします。  
(ふれあいサロン・地域文庫・世代間交流等)
- ③インターネットを活用した  
新しいつながりの形をつくりまします。

## 《活動目標3》 そだてる

- ①渡すバトンは軽く、周囲のサポートを  
重く（手厚く、協力）して、  
リーダーを育てまします。
- ②あなたの出番です!!  
いろんな世代が得意なことを活かせる  
まちづくりをすすめます。
- ③子どもたちを地域全体で見守り、  
育てまします。

グラウンドゴルフ



長曽根南

自主防災会防災訓練



平田

河川清掃



大沢

高齢者憩いの会月例会



西平田



和田

人権研修会